

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立湊小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>・全ての児童が笑顔で学ぶことができるための環境づくりでは、自他の生命を尊重するための道徳の授業やいじめ対策など様々な取組を行っており一定の成果が上がっている。しかしながら、学校が楽しいと思う児童の割合が少ない。人間関係のこじれや学習に起因することが多いので、それに、対応し改善していく必要がある。</p> <p>・学力向上の取組では、学校内での、児童の主体的な学習意欲が高まった。しかしながら、家庭学習の習慣化や学習内容の定着は課題である。</p> <p>・職員が元気に児童の前に立ち、教育の効果を高めるために、業務の精選、効率化、平準化を行い、働き方改革を推進していくことは急務である。</p>

2 学校教育目標	豊かな心を持ち 生き生きと自分の「よさ」を発揮できる湊っ子の育成
----------	----------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>課題に挑む子どもたちの育成に向けて、子どもたちが安心して実力を発揮できる環境づくり、授業づくり。</p> <p>【環境づくり】すべての子供が笑顔で学ぶことができるための「安心・安全な環境づくり」「地域・保護者に開かれた学校づくり」「職員の笑顔づくり」を行う。</p> <p>【授業づくり】校内研究や行事への取り組みなど、共通実践による「確かな学力の向上」「開発的生徒指導」を行う。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目								主な担当者	
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員による共通理解と共通実践</li> <li>○多教科で、児童が主体的に学びに向かい、「自分ごと」の学びを手に入れる学習活動の工夫を行う。</li> <li>○知識と読解力、読解力を高め、心を豊かにするために、読書を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケートの校内研究に係る項目で共通実践ができていると回答した職員100%。</li> <li>○学習に対する意識調査の主体性に関する項目において、肯定的な回答をした児童が80%以上。</li> <li>○児童の目標貸出冊数の達成。(低学年100冊100%・中学年80冊95%・高学年55冊80%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究において各学年の取組を共有し自己の指導力を高める。</li> <li>・ラーニングマウンテンを取り入れたり、単位時間においてPW・GW・CWを取り入れたりして、児童自身の学びとする意識や学び合う意識を高める。</li> <li>・図書室の活用や家読を推進する。また、児童の発達段階や学習内容に応じた読書を指導する。</li> </ul>	●		●		●	学習部
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科の項目「生命の尊さ」「親切、思いやり」を重点項目とし、各学年で年2回以上授業を行う。</li> <li>○心のアンケートで「友達の良いところを見つけようとする」の項目で、肯定的な回答をした児童が80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の教育の日に「ふれあい道徳」を実施し、保護者にも公開し、理解を広める。</li> <li>・「きらり見つけ週間」を設定し、友達の良いところに向けて目をつける取組をする。</li> </ul>	●		●		●	道徳推進委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「みんななかよしアンケート」で、「言われたりされたら嬉しい思いをしていない」と答えた児童70%以上</li> <li>○学校評価アンケートのいじめ防止等の項目で、組織的対応をができていたと回答した教職員が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんななかよしアンケート」の記述で気になる事が分かった場合、聞き取りを行い、早期発見対応に務める。</li> <li>・生活指導協議会の中で、職員間で情報を共有し学校全体でいじめに対応する。</li> </ul>	●		●		●	生活部
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童生徒80%以上。</li> <li>○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動で、児童に活動の見通しを持たせ、学びの振り返りを行ったり、「出席・役割・承認」の場を設定したりすることで達成感や自己肯定感を高めていく。</li> <li>・担任は学級の全児童に毎日声掛けを行い、児童が安心して活動を行う。</li> <li>・自分に何ができるようになったかキャリアパスポートに振り返らせ、次の行事や目標への期待感を高める。</li> </ul>	●		●		●	特活部
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の「よさ」を活かし、さらに友達の「よさ」を引き立て、仲良く助け合う子どもを育てる教育活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学級での活動や縦割り班活動のとき仲よく助け合いながら活動できる」と回答した児童が90%以上。</li> <li>○みんななかよしアンケートで「自分や友達のいところ、がんばっていること、楽しくしてもらって嬉しかったこと。」について、自分と友達への両方に記述した児童が90%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動や学校行事などで自己実現の場として子どもたちに役割を持たせ、達成感を持たせる。</li> <li>・教育活動の中に振り返りの時間を設け、自分の成長と友達の良さに気づかせる。</li> </ul>	●		●		●	人権・同和教育
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣の改善や定着化」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体力アップ記録カードのアンケート・体育アンケートで、「運動をすることが好き」と回答した児童が90%以上。</li> <li>●スポーツチャレンジに取り組み、各学年3種目以上のエントリーをする。</li> <li>●持久走大会へ向けての持久走タイムで、運動場50周を目標に取り組み、達成率90%を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動用具や環境の整備を行い、児童が主体的に運動に取り組める環境を整えることで、「運動をすることが好き」と感じる児童の割合90%以上の達成を目指す。</li> <li>・スポーツチャレンジにおいて、各学年で年間3種目以上に取り組み、体を動かす楽しさを味わう機会の充実を図る。</li> <li>・持久走大会の3週間前から、業間で持久走タイムに取り組み、その際に持久走カードを使用し、持久力の向上を目指す。</li> </ul>	●		●		●	保体部
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝ごはんを食べて登校している児童の割合90%以上。</li> <li>○「おにぎり弁当を自分で作れた」児童の割合70%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回の「おにぎり弁当の日」を設定し、振り返りのワークシートに感想を書かせる。写真や感想を廊下に掲示したり、食育だよりに掲載したりすることで、食への興味関心を高める。</li> </ul>	●		●		●	保体部
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日(金曜日)を設定するとともに、定時退勤日以外の日も退勤時刻を早められるよう、声掛けをしている。</li> <li>・年休取得については長期休業中の会議等の削減により年休取得がしやすいようにしている。</li> </ul>	●		●		●	教頭
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の働き方改革に対する意識改革を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケートの業務改善に係る項目で肯定的な回答をした職員が90%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革研修会を開き、業務の削減できるところの洗い出しを行う。また、研修会をきっかけに職員の働き方に対する意識改革を行う。</li> <li>・仕事の優先順位を決め、必要などころに優先的に時間をかけ、そうでないところは、削減を行う。</li> </ul>	●		●		●	教頭
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの特性や個性、能力を生かした支援に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別に応じた支援のために、心理検査の結果や保護者の考えから、個別の支援計画、個別的教育計画を作成する。</li> <li>○夏季休業中に特別支援教育の研修を開き、職員全体のスキルアップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別的教育支援計画に基づいて月ごとに実践をふりかえり、見直しをして次の支援につなげる。</li> <li>・通常学級にも在籍している「困り感」を抱えた児童の支援について講師を呼んで研修を計画する。</li> </ul>	●		●		●	特別支援コーディネーター

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目								主な担当者	
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○志と誇りをたかめる教育	◎地域人材の活用や地域との交流	◎地域人材を各学年で年間3回以上、児童が年間3回以上、地域の行事に参加。 ◎郷土を大切に思うことに関する項目で、肯定的な回答をした児童90%以上。	・「人材バンク」を活用し、地域人材との交流を図るとともに、地域行事の日時と内容を紹介し、児童の参加を促す。 ・公民館、地域団体などとの連携を図り、活動を展開するなかで、地域とそれを支える人々の願いについて表える時間を確保する。	●		●		●	教頭

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---